



インターネットやSNSの上の  
情報を正しく見分けるために

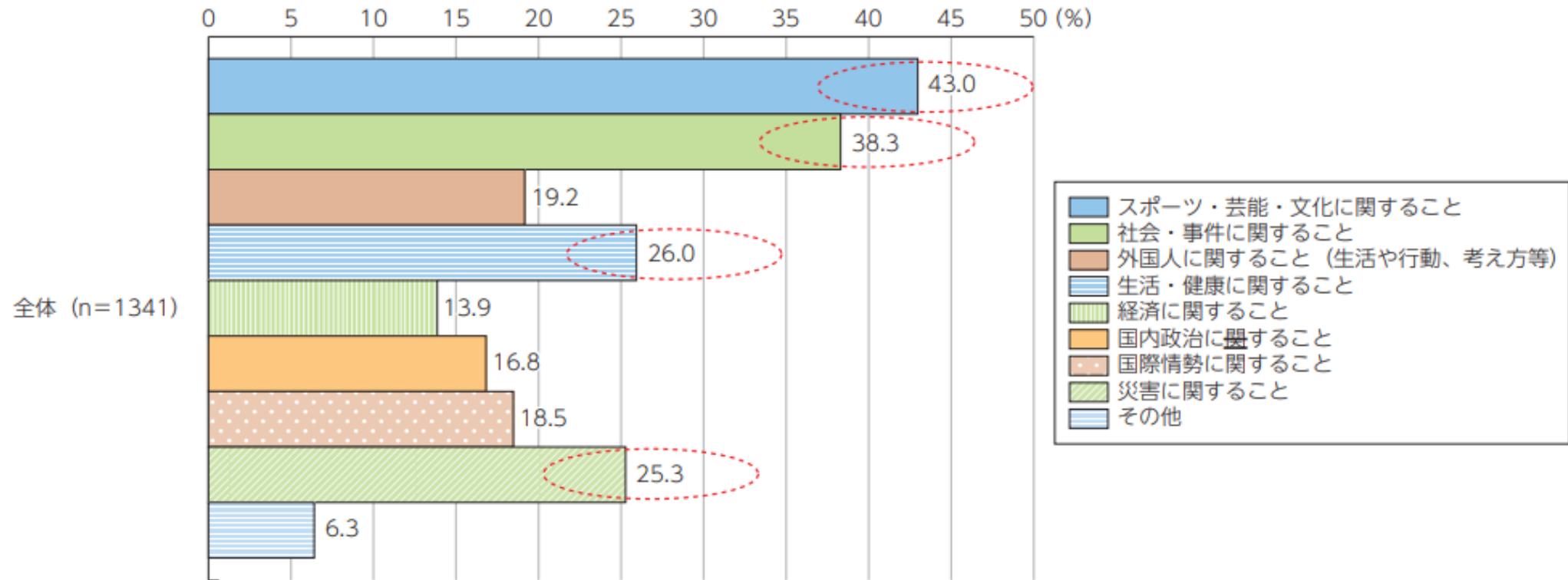
# インターネットやSNSの普及

- ▶ インターネットやSNSの普及により、情報の受発信が容易になっている。そのため、多くの健康情報がネットやSNSで容易に入手可能になっている。
- ▶ しかし、ネット上にある情報は有用なものもあるが、時に根拠のない、信頼性のない情報が拡散されていることもある。



# ～ユーザのフェイクニュースに対する意識調査～

図表2-5-1-1 見たことのあるフェイクニュースのジャンル



※n=1341：フェイクニュースを見かけたことがある人。

総務省が実施した調査では、娯楽に関するフェイクニュースが最も多いものの、人々の生活・生命や社会に影響を与えうる分野でのフェイクニュースも多い。

# SNSの偽情報を顕在化させる特性

- ① SNSでは一般の利用者でも容易に情報発信や拡散が可能であり、偽情報も容易に拡散されやすい
- ② 多くの利用者がプラットフォームサービスを通じて情報を収集・閲覧していることから、情報が広範囲かつ迅速に伝播されるなど、影響力が大きい
- ③ 偽情報はSNS上において正しい情報よりもより早く、より広く拡散する特性がある
- ④ 自分と似た興味・関心・意見を持つ利用者が集まるコミュニティが自然と形成され、自分と似た意見ばかりに触れてしまうようになり、パーソナライズされた自分の好み以外の情報が自動的にはじかれてしまうなどの技術的な特性がある
- ⑤ 各利用者の利用者情報の集約・分析によって、個々の利用者の興味や関心に応じた情報配信が可能であるなど、効果的・効率的な利用者へのアプローチが可能である

# 2016年、米ウィスコンシン医科大学のメガ・シャルマ 医師らによる研究によると、、、

- ジカ熱に関する記事や動画がFacebookでどのようにアクセス・拡散されているかを調べた研究
- 多くのアクセスや拡散されていた約200記事の内、81%がCDC・アメリカ疾病管理予防センターなどの信頼できる情報源を  
もとにしたもの  
しかし、残り  
根拠のある情報よりも、印象的な情報の  
方を信じ、拡散させてしまいやすい！
- 次に「どの情報が」  
12%の「誤解を生む」情報の方が多く拡散されていた。



もし、誤った健康情報を信じてしまうと、、、、

- ▶ 身体に影響を及ぼす
- ▶ 時間やお金を無駄に費やしてしまう
- ▶ 情報を共有した相手からの信頼をなくすリスク
- ▶ 「インフォデミック」：疾病（特に感染症）の広がりと共に、正確な情報と誤った情報が混在し、情報で溢れかえる状態

etc...

# SNSの情報を見極めるために、

## ～SNS上の情報が正しい情報なのか見分ける3つのポイント～

1. 根拠となった発言者やデータがあいまい
2. ドラマや漫画などでありそうな「いかにもなシチュエーション」を描いている
3. 感情的な表現を使っている

参考文献：市川衛. 教養としての健康情報「それ」本当に信じていいですか？

# まとめ

SNSやインターネットには信頼性のない情報も多く存在している。

⇒ 「かちもない」や正しい情報を見わける3つのポイントを活用し、自分自身でその情報が正しいものなのか判断することが大切。

～信頼性のチェックポイント～

- か：書いた人はだれか？
- ち：違う情報と比べたか？
- も：元ネタ（根拠）は何か？
- な：何のために書かれたか？
- い：いつの情報か？

# 参考文献

- ▶ 令和3年版 情報通信白書

[https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/n2500000\\_h.pdf](https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r03/pdf/n2500000_h.pdf)

- ▶ Megha Sharma MD : ジカウイルスのパンデミック—ソーシャルメディアの健康情報プラットフォームとしてのFacebookの分析

[Zika virus pandemic—analysis of Facebook as a social media health information platform - ScienceDirect](#)

- ▶ 市川衛. 教養としての健康情報 「それ」 本当に信じていいですか？. 講談社. 2019